

学年	高校3年	教科	公民	科目	政治・経済演習	単位数	7
教科書名	詳述政治・経済 (実教出版)			副教材名	2024 ブームアップ政治・経済資料 政治・経済用語集 20日完成 スピードマスター政治・経済問題集		
コース・クラス	N進文系						

## I. 目標

1. 3年次の基礎学力到達度テスト6割をめざし、基礎的な実力を養う。
2. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につけさせる。
3. 政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究させる。
4. 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

## II. 授業のねらい

1. 日本が直面している国際問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉えさせ、日本の立場、解決策を考えさせる。
2. 様々な出来事に歴史的・政治的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につけさせる。
3. 進路目標に即した問題演習を行い、共通テスト・難関私大 (MARCH レベル) に対応できる学力を育む。

## III. 授業の進め方

1. 毎時間、冒頭に時事問題を取扱い、世の中の動きをつかませる。
2. 板書を軸とした講義に加え、電子黒板や図表も活用し、効率的に授業を進める。
3. DVD や図表を効果的に活用し、視覚から理解を深めさせる。主権者教育はAL方式で行い、より実効性のあるものとする。
4. 小テストを実施し理解度を確認すると共に、單元ごとにセンターレベルの問題を解かせる。

## IV. 学習上の留意点

1. 現代社会における事象への関心・意欲を高めるような内容を授業に盛り込む。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な事象と関連付けて覚えさせる。
3. 板書の書き写しだけではなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につけさせる。

## V. 定期試験

- 1 学期 中間試験：国際政治分野 (1 国際政治の特質と国際法 2 国際連合と国際協力 3. 現代国際政治の動向)
- 1 学期 期末試験：国際政治分野 (4 核兵器と軍縮 5 国際紛争と難民 6 国際政治と日本)
- 2 学期 期末試験：国際経済分野 (現代の国際経済・国際社会の諸課題の探究)
- ※各定期試験には、上記内容以外にも政治経済各単元の入試問題が含まれます。

## VI. 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治 1. 国際政治の特質と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. 現代国際政治の動向	・小テストの実施 ・中間試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際法の変遷や国際連合の特徴、冷戦終結後の国際政治等の戦後史を知るとともに、現代の国際社会が抱える諸課題について考察を深める。</li> <li>・核軍縮や管理について、国際社会における取組と日本の貢献を考える。</li> <li>・国際紛争や難民問題発生 of 歴史的背景を知り、複雑に絡みつく国家間の対立の理由を理解する。</li> <li>・戦後、日本が果たしてきた国際政治上の役割を知り、今後の多様化する世界にどのように対応していくべきか考察する。</li> </ul>
	5	4. 核兵器と軍縮 5. 国際紛争と難民 6. 国際政治と日本		
	6 7	・政治経済全単元演習問題にチャレンジ (基礎学レベル・共通テストレベル日東駒専・GMARCH レベルまで)	・期末試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済体制の変化について考える。戦後の国際秩序の変化に関わる諸問題を理解する。</li> <li>・国際政治、時事問題についての入試問題を解く。</li> </ul>
二学期	9	・基礎学過去問にチャレンジ ・政治経済全単元演習問題にチャレンジ (基礎学レベル・共通テストレベル・日東駒専・GMARCH レベルまで)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学本番を想定した問題への対応・テクニックなどを再確認する。</li> <li>・基礎学本番の問題以上に、レベルの高い問題に取り組むことで負荷を与えておく。</li> </ul>
	10	第2章 現代の国際経済 1. 商品・資本の流れと国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. グローバル化と世界金融	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済体制の変容について考える。戦後の国際秩序の変化に関わる諸問題を理解する。世界史・日本史の学習と連動して理解する。</li> </ul>
	11	4. 地域経済統合と新興国の台頭 5. 地球環境とエネルギー 6. 経済協力と人間開発の課題	課題提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦後の貿易体制、為替相場の変動や冷戦の流れは、当時の首脳と共に把握する。地域経済統合も含めて、戦後史を合わせて理解する。</li> </ul>
	12	第3章 国際社会の諸課題の探究 1. 紛争の解決に向けた国際社会の取り組み 2. グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容 3. イノベーションと成長市場 4. 地球環境と資源・エネルギー問題 5. 国際経済格差の是正と国際協力 6. 持続可能な国際社会づくり	小テスト 期末試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会に存在する諸課題に対して、グローバルな視点を持って解決策を構築する。小論文やディベートを通して、自分の考えを表現する力も養う。</li> </ul>

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。